

3. 超過時の対策実施状況 (対象期間: 5月1日～5月31日)

| No. | 発生年月日 | 超過内容 | 原因 | 対策 | 対策完了年月日 |
|-----|-----------|--|---|--|-----------------------------|
| 1 | 2005.5.12 | 活性汚泥排水溝 CN 1.4mg/l (1.4mg/l) | 処理槽のバクテリアの活性が低下したため回復を図っていたところにCN濃度が高めの原水が流入した。このためバクテリアが被毒してCN分解能力が低下し、原水のCN濃度は通常に戻っていたが放流水のCN濃度が協定値を超過した。 | 自動CN計を設置し原水の変動を監視するようにしました。 バクテリアの活性維持のための栄養剤の投入方法を変更し基準化します。 | 2006.1設置 2005.6基準制定 済 |
| 2 | 2005.5.4 | 東銑鋼排水溝 COD 58mg/l (30mg/l) 西総合排水溝 COD 23mg/l (20mg/l) * 手分析値 | 自動計測器の測定値が変化していないこと、水処理場の操業に異常が見られないこと、複数の水処理場でCODにのみ高い値が出たこと、などから手分析の異常と判断しました。該当日の採水に購入ままの新品容器(PP製)を使用しており、この容器の離型剤などの残渣がCODとして測定されてしまったものと推定しました。 な残録とて巻驚く楡物遺願人稟 見段其菱 | | |
| | | | | | |